

コミュニティ・スクール 導入はいつか

永田 千佳議員

調査・研究を進めていきたい

教育部長



▲コミュニティ・スクール構想

問 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について、導入時期とスケジュールは。

答 コミュニティ・スクールを導入している自治体数が、令和5年が1347自治体、6年が1449自治体と増加傾向にあることを踏まえ、調査・研究を進めていく。

問 地域学校協働活動について、現状で行われている活動では、何が地域

学校協働活動として該当するのか。それらの活動を継続するに当たり、どのような問題点が考えられるか。

答 本の読み聞かせ活動や除草活動、登下校時の見守り活動など。土曜日の教育活動の充実をはかるあいさい土曜キラリ学習を実施し、小学生を対象として学習やスポーツ、体験活動などの機会を提供している。活動継続に係る課題については、

地域の人材の確保が課題。ボランティア団体の高齢化や固定化により後継者が増えない。土曜キラリ学習では、一部の教室において指導者の高齢化や、指導者の確保が困難なため教室の継続ができないという事例がある。

永和駅放置自転車対策は

問 駐輪の仕方を改善するための方策は。



▲永和駅放置自転車の更なる対策を

その他の質問

● 消防団員報酬のあり方は

答 駐輪禁止の看板を設置した。東海旅客鉄道株式会社が所有している敷地は同社に連絡し、改善を求めていく。